

備前市事務事業評価表

(平成18年度事業)

事務事業名	児童扶養手当給付事業等		コード	02-01-02-01
			担当課・係	福祉事務所児童福祉係
			担当者	藤田
事業実施期間	ひとり親家庭等医療費S52～、児童扶養手当S37～		電話	64-1825
総合計画 事業(政策)体系	大項目(基本目標)		健康でやさしさあふれるまちづくり	
	中項目(基本施策)		やさしさあふれるまちづくり	
	小項目(施策)		ひとり親家庭福祉	

事業について	
目的 (何のために)	ひとり親家庭等の福祉の増進と自立支援に寄与する。
対象 (誰・何を対象に)	児童扶養手当・・・児童(18歳までの者又は20歳未満で一定の障害の状態にある者)を監護する母等 助産施設措置事業・・・経済的な理由により入院助産を受けることができない妊産婦 遺児激励金・・・市内に住所を有する遺児(義務教育終了前の児童) 交通遺児見舞費事業・・・交通事故によって両親を亡くした児童 ひとり親家庭等医療費給付事業・・・配偶者のない者であって18歳未満の者を有する者及びその児童
内容	医療保険に基づき医療を受けた場合に、自己負担をしなければならない費用の一部を公費で負担(医療費給付事業)したり、扶養手当を支給する。また、遺児に対し遺児激励金(入学・卒業・激励金、保護者死亡見舞金)等を支給する。

事業の結果			
実施項目	17年度 回数など(単位)	18年度 回数など(単位)	回数など(単位)
児童扶養手当給付事業	受給者数 258	受給者数 259	
助産施設措置事業	措置者数 1	措置者数 0	
遺児激励金支給事業	受給者数 10	受給者数 6	
交通遺児見舞費事業	支給回数 1	支給回数 1	
ひとり親家庭等医療費給付事業	支給者数 571	支給者数 545	

事業費 (単位:千円)	事業費		財源		事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	110,559	間接補助金等	80,531	直接事業費	124,857	間接補助金等	44,425	直接事業費		間接補助金等	
	人件費	6,441	受益者負担		人件費	5,628	受益者負担		人件費		受益者負担	
		市債				市債				市債		
合計	117,000	一般財源等	36,469	合計	130,485	一般財源等	86,060	合計	0	一般財源等	0	

必要人員	0.77人	0.78人	
結果指標名	児童扶養手当給付者数	児童扶養手当給付者数	
結果指標量	258	259	
単位	人	人	
対前年比	-	100.39%	0.00%
活動にかかるコスト	100,947,278円	116,635,812円	
単位当たりコスト	391,269円	450,331円	
結果指標名	ひとり親家庭等医療費給付者数	ひとり親家庭等医療費給付者数	
結果指標量	571	545	
単位	人	人	
対前年比	-	95.45%	0.00%
活動にかかるコスト	11,246,314円	10,905,578円	
単位当たりコスト	19,696円	20,010円	

事業の成果			
どのような成果を得ようとしているか	制度を周知し支給漏れのないようにする。		
成果指標名	受給者数等	式又は説明	申請もれのないよう対象者を把握する。
成果指標量	17年度 841	18年度 811	
対前年比	-	96.43%	0.00%
到達目標値	100%	到達目標年度	毎年

事務事業の評価		妥当性評価<A-E>	C
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境から目的は妥当である 関係法令等: 児童扶養手当法	課題認識
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	児童扶養手当給付事業・助産施設措置事業・母子家庭医療費給付事業については、国、県の制度に則して実施している。遺児激励費支給事業等については、遺児の健全な育成と福祉の増進を図るために必要な制度である。
	市民ニーズの妥当性	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input checked="" type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である	
市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input checked="" type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である		
効率性の評価	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である	効率性評価<A-E>
	手段の最適化	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input checked="" type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	課題認識
	職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input checked="" type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input checked="" type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施について職員の見解・要望が反映しやすい	
有効性の評価	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	有効性評価<A-E>
	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	課題認識
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	母子家庭等の福祉の増進や自立支援のために必要な制度であるため、関係各課と連携を密にしながら対象者の把握をし、対象者がすべて申請できるよう努める。

事業の目的、対象、内容を考えてながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

平成19年度の状況	
<input type="checkbox"/> 重点化している <input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している <input type="checkbox"/> 見直し継続している <input type="checkbox"/> 事業を縮小している	<input type="checkbox"/> 休止している <input type="checkbox"/> 他の事業と統合している <input checked="" type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了
説明	交通遺児見舞費等事業については、寄附金を財源に同額を社協に支出しているが、対象者の把握が困難なこと等の理由により見直す必要がある。
目標値	結果指標量 児童扶養手当給付者数259人 結果指標量 ひとり親家庭等医療費給付者数545人

総合評価	評価区分<A-E>	C
国の制度に則して処理しており、対象者の把握にも努力している。		

平成20年度以降の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する	平成19年度で廃止・完了
--------------	---	---	--------------

平成20年度以降の改善事項	評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果